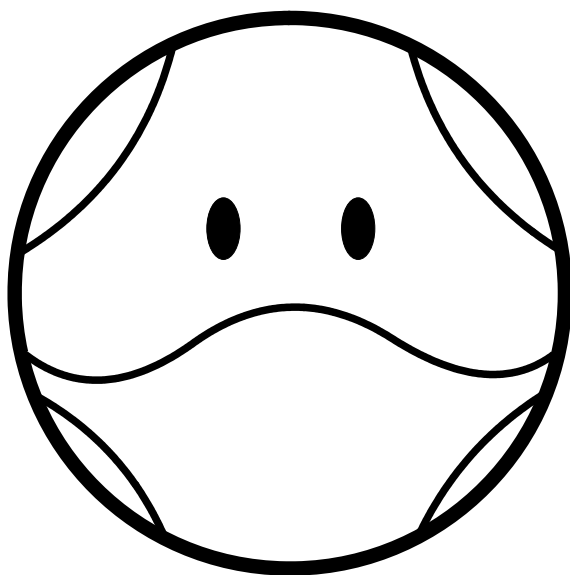


ガンダムかるた

拡張キット解説書



はじめに

本書は「かるた堂本舗」にて発行しております
「ガンダムかるた 拡張キット」の解説書です。

本書の構成は、上段より、

○かるたの読み

○絵札の絵(実際のかるたの絵はフルカラーです)

○そのシーンの解説

となっておりますので、以下の様なシチュエーションでお役に立てていただけると幸いです。

- (1)かるた取り大会でヒントを出す時の手がかりに
- (2)かるたの絵を見ながら、昔の思い出にひたるときに
- (3)かるたで遊んだあと、該当シーンをアニメで見直すときに
- (4)ガンダムを観たことがない人に、無理やり観せるための一助に(^_^);

もし、かるた本体をお持ちでなく、本書をご覧になって興味を持っていただいたのであれば、かるた本体をご購入の上「かるた取り大会」開催という流れとなることが、製作者としての身勝手な希望ではございます。

(「かるた堂本舗」は基本的に冬のコミケに参加します)

なお本解説書は「かるた堂本舗」のWebPageにて無料で配布しておりますので、ご自分で印刷して製本したり、電子書籍としてPCやスマホで読んだりということが可能となっております。

かるた堂本舗URL

<http://www.bekkoame.ne.jp/~hiroko.k/index.html>

「かるた堂本舗」で検索していただいてもOKです

「ガンダムかるた 拡張キット」の事情

「ガンダムかるた 拡張キット」に関しまして、拡張キットであるが故の特殊な事情をご説明いたします。

本拡張キットに先立って「ガンダムかるた 基本セット」が存在し、拡張キットは足りない名場面を補う目的で製作されました。

基本セットはもちろん50音がすべて揃っておりますので、拡張キットでは重複する音が必然的に存在することになります。また、50音を揃えるという制限を逃れ、自由に読みを作ったことで、拡張キット内だけでも音が重複しているという状態になっております。

具体的には、この後のページにて「あ」「そ」「わ」が2枚ずつ存在しておりますが、以上のような事情でございますので、

**「かるたなのに、同じ音が2枚あるって
どうなっとんじゃー！」**

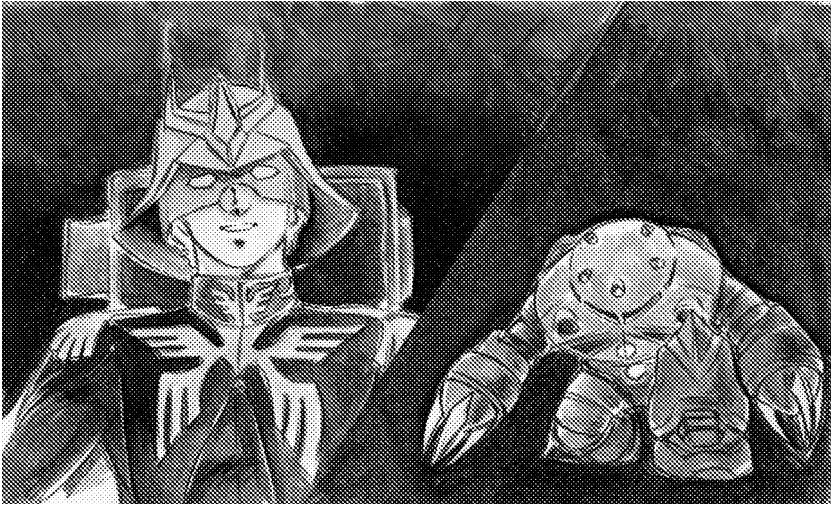
という突っ込みはご容赦いただきたく、よろしく願いいたします。

あ

あか やつ
赤い奴

ザクとは違^{ちが}う

かた
型^{かた}だけど



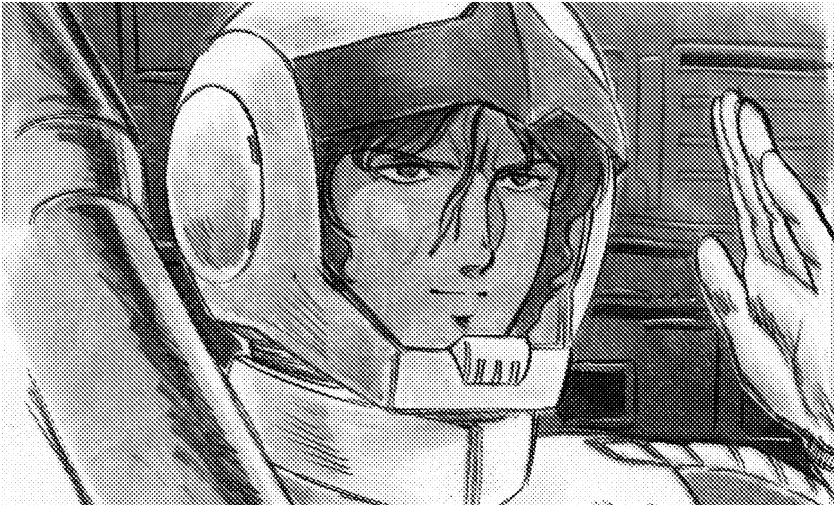
第29話「ジャブローに散る！」より

堅い岩盤に守られ、コロニー落としにすら耐えられるといわれた難攻不落の南米連邦軍基地ジャブローが初めてジオンの侵入を許した。基地内に入るホワイトベースが後をつけられたのだ。

その迎撃戦の中、アムロは赤い色のモビルスーツを目撃する。ザクではないけれど赤いモビルスーツ。その並みのパイロットとは思えぬ動きにアムロは確信した。シャアが再び姿をあらわしたのだと。

あ

あねうえ
姉上と
なかよく
仲良く暮らせ
えいえん
永遠に



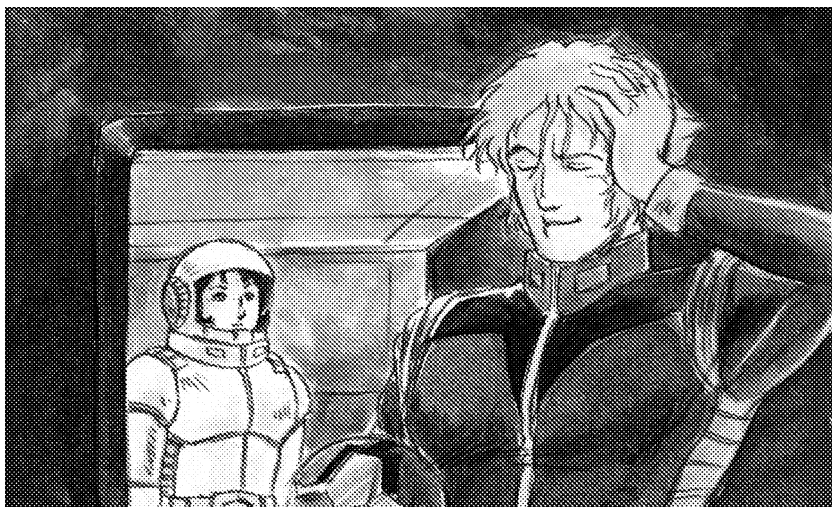
第43話「脱出」より

ジオン公国の最後の砦ア・バオア・クーが断末魔の叫びをあげていた。そこから一人脱出しようとするキシリアの乗るザンジバルの前に立つ、ノーマルスーツの人影があった。キシリアの逃亡を阻止すべくバズーカを構えるシャアである。

ガルマへの手向けといいながら発射されたバズーカはキシリアの頭部を打ち抜き、ここにザビ家の血筋は絶えたかに見えるのであった。

う

うかつだぜ
おれ なみだに涙を
み
見せるとは



第36話「恐怖！機動ビッグザム」より

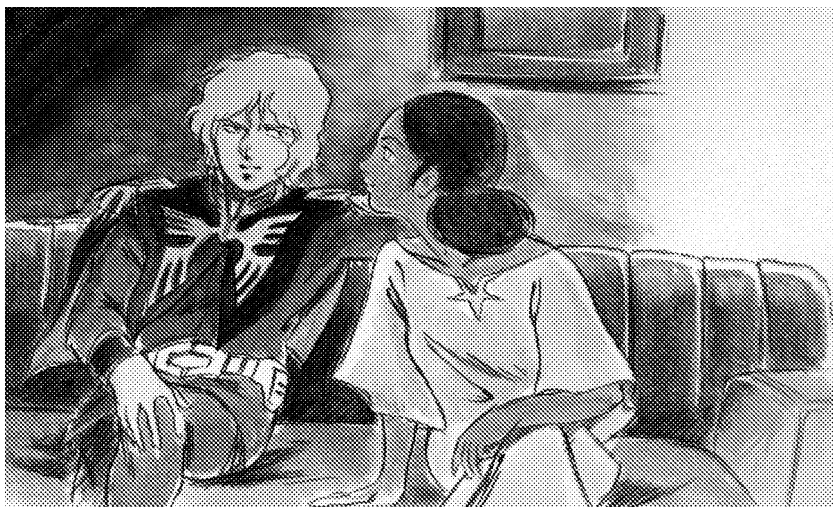
いつのまにかスレッガーに強く惹かれていたミライはソロモン攻略戦のさなか、補給のために帰艦したスレッガーの無事確かめずにはいられなかった。

スレッガーはそんなミライの気持ちに気づくが、自分はその好意を受けられるような人間ではないと告げ、母親の形見の指輪をミライに託して戦場へと戻ってゆくのだった。その後の自らの運命を知っているかのように、

、、、。

か

かしこいな
どれが勝つのか
わかるのか



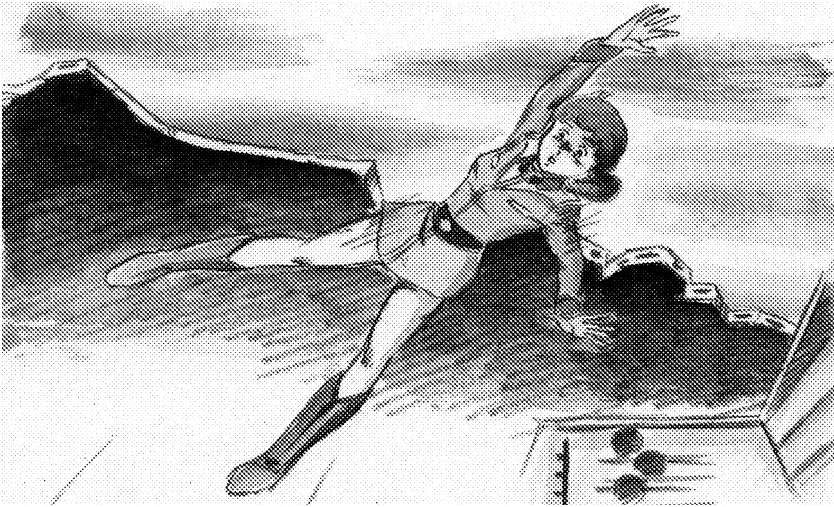
第34話「宿命の出会い」より

TV中継でホワイトベースの戦闘に見入るラァは、画面にガンダムが映っていないにもかかわらず白いモビルスーツが勝つと断言する。

その能力を持っていることと、その能力があることで自分がシャアに拾われたのだということがわかっているラァを素直にかしこいと評するシャアは、ラァとふたりきりのときだけ本当の自分を出せるのかもしれなかった。

し

しろと
素人の
ふちゅうい
不注意ゆえと
いいながら



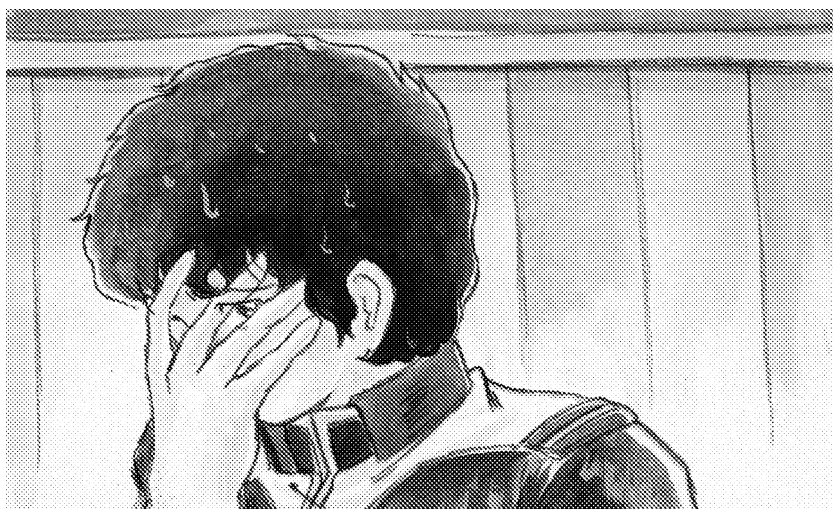
第28話「大西洋、血に染めて」より

南米のジャブローを目指し大西洋を進むホワイトベースは、またしてもジオン軍の攻撃にさらされていた。それが自分の責任だと思い込んだミハルはカイとともに出撃し、敵の攻撃で発射できなくなったミサイルをランチャー横の操作パネルから手動で発射するが、次の瞬間、そのミサイルの噴射が彼女を襲っていた。

ほんの少しの不注意で一瞬後には命を落とす、それが戦争なのだという事を理解するまもなく、ミハルは大西洋の波間に消えていった。

す

すきまから
のぞ覗いちゃうのが
おとこ男のこ子



第17話「アムロ脱走」より

水道が壊れたとあって突然飛び出してきたキッカに続いて風呂場に入ったアムロは、干してあるブラジャーに気がついて大パニック。中にいたミライに乞われて水道を直したアムロは、ミライのほうを見てはいけないうつつ、つい指の隙間からのぞいてしまう。

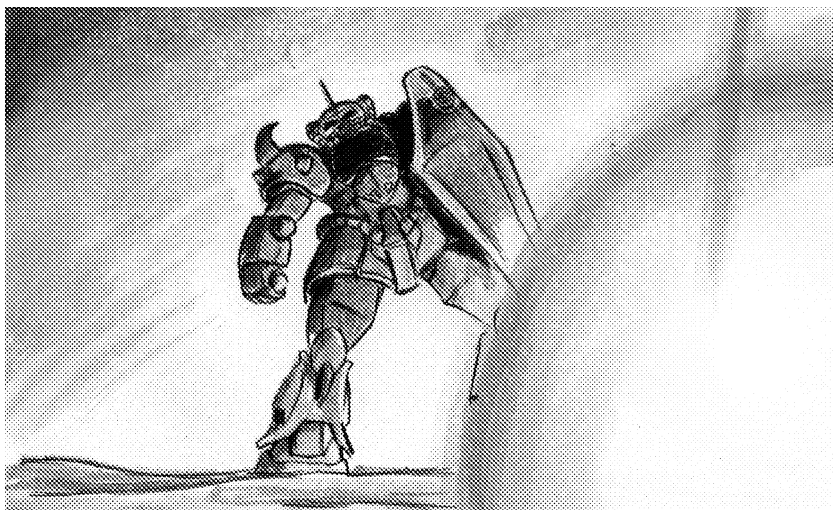
ガンダムのパイロットとして目覚しい働きを見せるアムロだが、思春期の少年であるという事実が変わりはなかった。

せ

せいかく
正確な

しゃげき
射撃だからこそ

よけやすい



第19話「ランバルル特攻」より

アムロが脱走しガンダムに頼ることができないホワイトベースに、ランバルル隊が再び襲い掛かった。駆けつけたアムロはグフをビームライフルで狙撃するが、すべてを上体の動きだけでかわされてしまう。

狙いが正確であればあるほどコンピュータには予想しやすく、最小限の動きでかわすことが可能なのだということに、アムロはまだ気づいていなかった。

そ

^{そら}空を^と飛ぶ

モビルスーツを

^{つく}作るとは



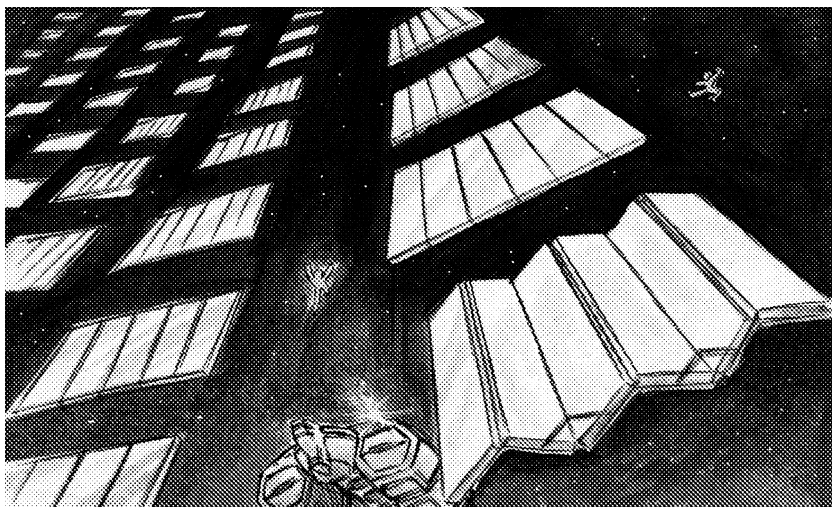
第9話「翔べ！ガンダム」より

自らドップを駆ってホワイトベースに攻撃を仕掛けたガルマは信じられない光景を目にする。あの白いモビルスーツが空を飛んで、次々にドップを撃破していったのだ。

元々無重力下を想定して作られたモビルスーツに、1Gの重力下で空中戦を行うことが可能な性能を持たせた連邦軍の高い技術力に、ガルマは底知れぬ脅威を感じていた。

そ

ソロモンを
じりじり^こ焦がす
はんしゃこう
反射光



第35話「ソロモン攻略戦」より

ジオンの前線基地ソロモン攻略のために連邦軍が用意した秘密兵器、それがソーラシステムだった。宇宙空間に並べられた無数の反射鏡が緻密な制御により太陽光を反射する巨大な凹面鏡と化してソロモンに焦点を合わせたとき、ソロモン内のジオン兵は、その物理攻撃でもなく荷電粒子ビームでもない正体不明の攻撃に戸惑い、為すすべもなく焼かれていくしかなかった。

た

だいじょうぶ
大丈夫
あの^こ子^{たち}達なら
うまくやる



第28話「大西洋、血に染めて」より

悲しい事故でガンペリーから転落して海の藻屑と消えたミハル。カイの脳裏にはいくつものミハルの思い出が去来していた。妹、弟思いのミハル、生きる糧を得るためにホワイトベースに潜入してきたミハル、幼い子供が死んでいっていいはずかないと言って出撃したミハル。

戦争に翻弄されたその短い生涯は、カイの胸に戦争を終わらせるという強い意志を芽生えさせることになるのだった。

て

てき
敵じゃない
ちきゅう
これが地球の
カミナリだ



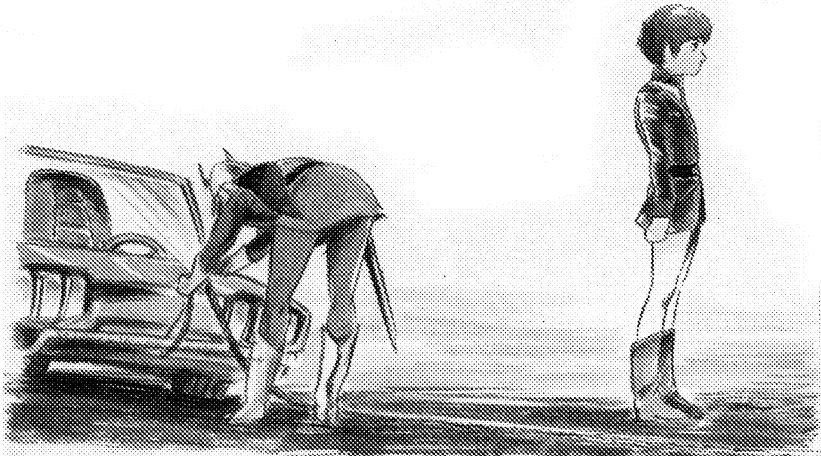
第12話「ジオンの脅威」より

ランバルルのザンジバルに追われ、嵐の中に逃げ込んだホワイトベースであったが、とどろく雷鳴と強烈な稲妻は雷を知らぬフラウをして、敵の新兵器と間違わせるに十分なものであり、そしてそれはランバルル隊の隊員にしても同様だった。

うろたえる隊員に対し、それが地球の自然現象であるとたしなめたランバルルだったが、同時に地球の自然に対する強い畏怖を憶えるのであった。

ぬ

ぬかるみに
はまって敵に
てき
たす
助けられ



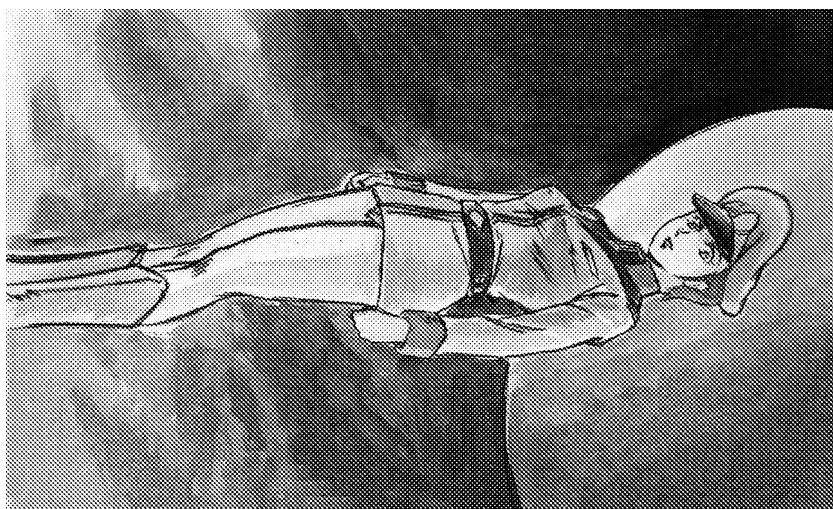
第34話「宿命の出会い」より

サイド6で偶然出会った父に会いに行った帰り道、アム口のエレカーはぬかるみにタイヤを取られ身動きできなくなってしまう。そこへ通りかかったエレカーに助けを求めたアム口は運転席から現れたジオンの士官を見て、それが幾度となく自分を苦しめた赤い彗星のシャアだとなぜだか確信していた。

それがニュータイプとして覚醒しつつある自分の能力ゆえのものだとはまだ知る由もないアム口であった。

ね

^{ねむ}眠るのも
^{しごと}仕事のうちよ
アムロ^{くん}君



第14話「時間よ、止まれ」より

思春期の少年が憧れる、やさしく美しい年上の女性。アムロにとってその人は補給部隊のマチルダだった。彼女を一目でも見たいと願うアムロは就寝時間であるにもかかわらず甲板に姿をあらわしブライトに一喝される。

寝るのもパイロットの仕事だとマチルダに優しく諭されたアムロは素直に床につくが、寝過ごしてマチルダの出発に間に合わなかったことを後悔するのだった。

は

ばけものか
ぼうぜんじしつ
茫然自失の
コンスコン



第33話「コンスコン強襲」より

シャアに敵対心を燃やすコンスコンにとって、シャアが何度も取り逃がしたホワイトベースを叩くことには大きな意味があった。シャアの無能ぶりを証明できるという大きな意味が。

そしてその目論見が、12機のリックドムを3分もたたず撃破されるという信じられない形で潰えたとき、コンスコンは言葉を失い、ただ「化け物か」とつぶやくより他になかった。

ひ

ひめさま
姫様か

しかしあなたが
なぜここに



第20話「死闘！ ホワイトベース」より

すべてのモビルスーツを失い、さらにマクベの姦計によって満足な補給も受けられなかったランバル隊にとって、ホワイトベースに対する攻撃手段として残されたのは白兵戦だけだった。首尾よくホワイトベースへの侵入に成功したランバルは、激戦のさなかに遭遇したセイラをひと目見て「姫様」と口走る。

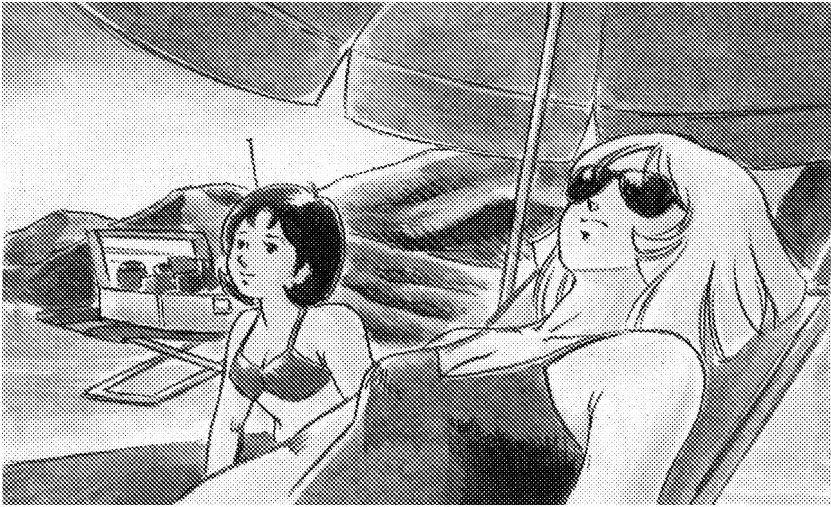
そう、セイラこそ、ジオン公国を興したジオン・ダイクンの忘れ形見、アルテイシア・ソム・ダイクンその人であったのだ。

ふ

^{ふしぜん}
不自然ね

ひとつの^{てん}点から

^{ひかり}
くる光



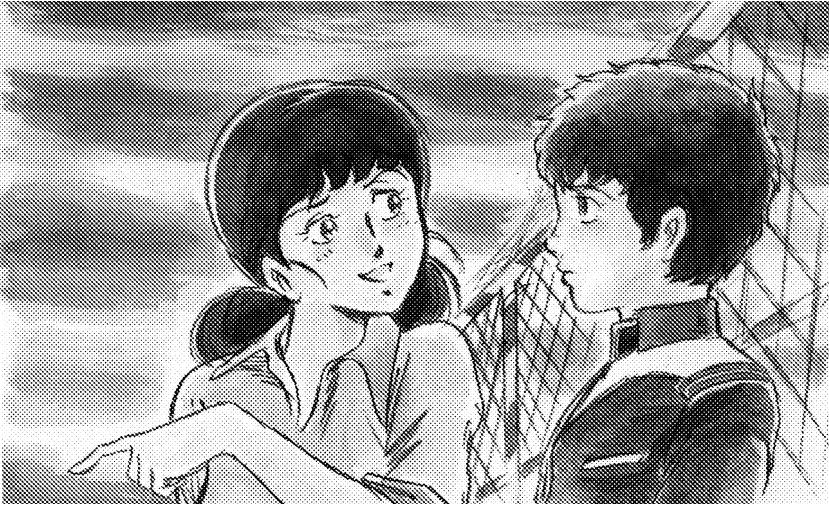
第13話「再会、母よ・・・」より

スペースコロニーで生まれ育ち、コロニーの三つの壁面から降り注ぐ太陽光に慣れたセイラやミライ、そして大多数のホワイトベースのクルーにとって、点に見える太陽は不自然以外のなにものでもなかった。

それこそが自然であると感じる地球育ちを、「エリート」である、と断じるカイは、地球に家があるアムロに対して敵意とも羨望ともつかぬ思いを感じていた。

∧

へいたい
兵隊さん
なんか買^かってよ
いいだろう



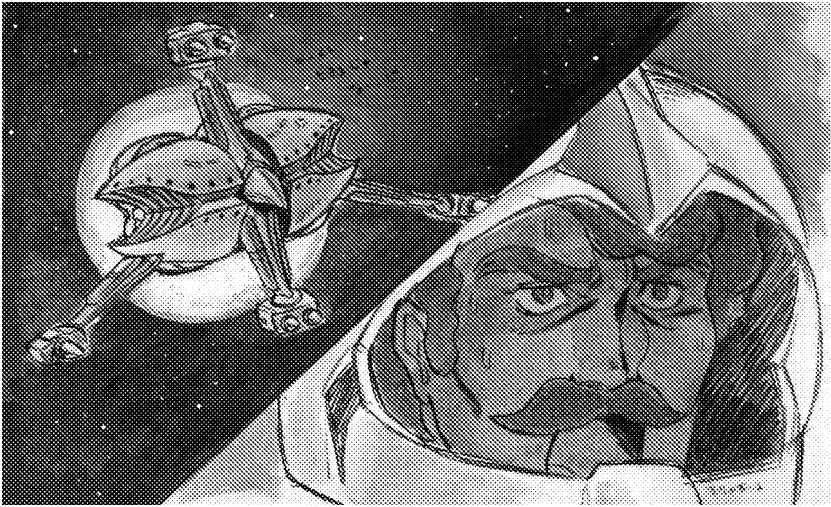
第26話「復活のシャア」より

ジオン軍に連邦軍の情報を流すことで生計を立てる少女ミハル。幼い妹、弟以外に身寄りのない彼女が戦時下を生き抜くためには手段を選んでいる余裕はなかった。

ベルファスト基地に寄港したホワイトベースの情報を流したミハルはさらに情報を得るため、基地から出るホワイトベースのクルーたちに物売りの振りをして近づくのだった。

よ

よけるのか
オールレンジの
こうげき
攻撃を



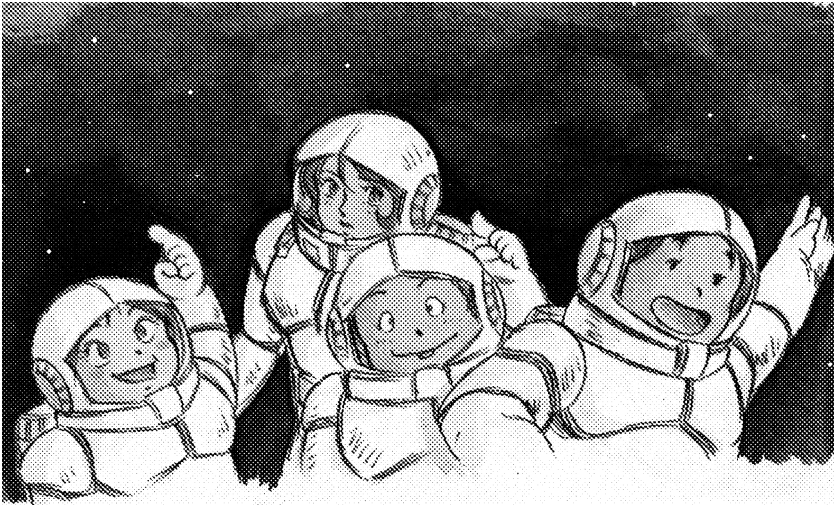
第39話「ニュータイプ、シャリア・ブル」より

ニュータイプのかぶ力をかわれて木星から召還された男シャリアブル。そして人間の思考を操縦系に直接伝達できるサイコミュを搭載し、変幻自在のオールレンジ攻撃が可能な最新モビルアーマー、ブラウブロ。無敵かとも思われたこの組み合わせですら、急速にニュータイプとして覚醒しつつあるアムロの敵ではなかった。

アムロの駆るガンダムは、ニュータイプでなければ敵の影も捕らえられないまま撃破されたであろう攻撃をかいくぐり、自らは無傷のままブラウブロに止めを刺すのだった。

わ

わかるのね
どこにアムロが
いるのかが



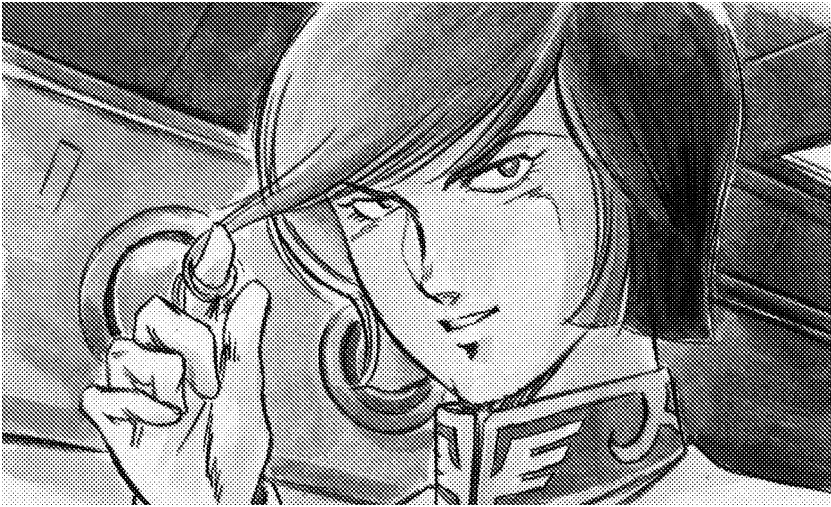
第43話「脱出」より

崩壊するア・バオア・クーから脱出するランチにアムロは乗っていなかった。ランチを重い空気が支配していたそのとき、カツ、レツ、キッカの3人が声をあげた。彼らにはコアファイターで脱出しようとするアムロが見えたのだ。

アムロを誘導した彼らのカウントダウンが「0」になったとき、アムロの乗るコアファイターが炎の中からその姿をあらわした。

わ

わら
笑うなよ
へい
兵が^み見ている
われわれ
我々を



第6話「ガルマ出撃す」より

ジオン公国の支配者ザビ家の三男にして地球方面軍の司令官、ガルマザビ大佐。赤い彗星シャア・アズナブルの士官学校時代からの友人でもある彼は、木馬、すなわちホワイトベースの打倒がジオン十字勲章ものだというシャアの言葉を信用せず、ホワイトベースの実力を過小評価していた。

そのことがシャアにとっては好都合であり、だからこそ笑ったのだということを今のガルマには理解できるはずもなかった。

ガンダムかるた拡張キット解説書

2014年5月10日 初版発行

著者 タカギリョウ/酔こんぶ

発行人 酔こんぶ

発行 かるた堂本舗

<http://www.bekkoame.ne.jp/~hiroko.k/index.html>

本書のコピー/配布は自由ですが、内容の改変、商業利用、
かるた堂本舗以外のサイトへのアップロード等の行為は
固くお断りいたします

